

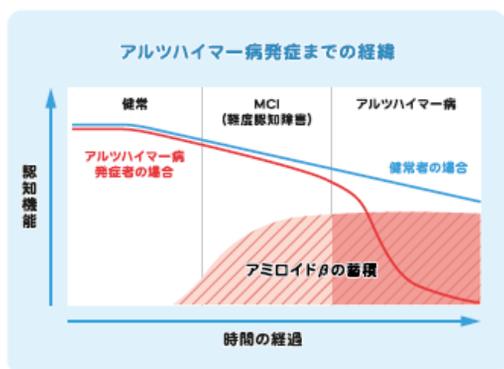
認知症検査がパワーアップしました

MCI⁺プラス

スクリーニング検査



アルツハイマー病前段階の軽度認知障害リスクを**血液**で調べます



MCI（軽度認知障害）とは？

MCI（軽度認知障害）は健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階と考えられ、**認知症予備軍**といわれています。そのまま放置してしまうと約5年でその半数が認知症に移行してしまうと言われていますが、この段階で適切な予防や治療を行うことによって、**認知症発症を防ぐまたは遅らせることができる**ことが最近の研究で明らかになっております。

プラスのヒミツ

より**早期**のスクリーニングが
より**高感度**で行えるようになりました

いままで



アミロイドベータ
・排除する
・毒性を弱める
3種のタンパク測定



プラス



- ・アミロイドベータ関連物質 **4種類**追加
- ・血管ダメージに関わる **2種類**の物質を追加

全部で **9種類**の物質を測定解析

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが蓄積されて、神経細胞がダメージを受けることで発症すると言われています。従来検査ではこれらを排除する蛋白質を測定することでMCIのリスクを評価していました。

新しくなった検査では従来の蛋白質に加えて、新しく4種類のアミロイドベータ関連物質を測定しております。また、最新の研究で**血管のダメージ**が認知症に関連していることがわかっておりましたので、新たに血管に関連する物質を測定し、解析に組み込んでおります。新しい解析手法により、従来の検査よりも高い感度でMCIのリスクを評価することが可能になりました。

早期にMCIリスクを調べて、認知症になる前の予防に取り組みましょう

検査価格：19,800円

